

## 鍋谷堯爾『詩編を味わう』Ⅲ 90-150 編 (いのちのこのことば社)

牧野信成

一昨年さきに本誌で紹介した鍋谷氏の『詩編を味わうⅠ・Ⅱ』に続く第三巻が完成した。詩編のことばに集中した黙想へと読者を誘う、本文に密着した講解のスタイルがこの第三巻にも一貫しているが、主題としてはテキストに即してそれぞれに個性がある。巻末の「あとがき」で、飛鷹氏は各巻の特徴を次のように紹介している。

「第一部では、パラレリズムの重要性に始まり、キリスト中心に詩編を読むこと、また、アルファベットうたに表れている遊び心について展開されています。それによって、詩編を味わう基本はキリストへの信仰であり、信頼であることがわかりました。第二部では、神名に注目することを学びました。詩編の中にある、『ヤハウェ』であり『エロヒーム』である神と信仰者の親密な関係が展開されていました。第三部では時間論や生命論に発展し、この宇宙を創造され、今もつかさどっておられる方が、信仰者の賛美や祈り、悔い改めの嘆きを聞いてくださることを確認しました。そして、時空を超えて働かされる主なる神にいつも心を開き、信頼し、神が現代に生きる人々に語りかけているイメージを聞こうとすることが何よりも大事だと考えるように導かれました。」

本書の冒頭は 90 編より始まり、その解説では旧約聖書の時間論が展開される。同編には 17 種類の時間に関する用語が表出され、旧約聖書の時間概念を考察するのに格好のテキストとなる。神の創造に基づく日・月・年の分節は時間循環のリズムを生じさせるが、人間の生涯に意義を与えているのはそれを単なる循環として捉えるのではなく、1 回限りのものとして把握する時間感覚

であることを 90 篇が明らかにする、と同氏は指摘する。アブラハム・ヘッセルの安息日論をも援用しながら、新約の時間論へと進み、さらにアリストテレスとアウグスティヌスの時間論が参照される本編の解説は、もはや 1 編の詩編の解説を越えて神学事典の一項目を紐解くかのようなものである。

各編の解説部では読者への便宜を図ってカタカナでヘブライ語表記がなされるが、これは神学生・教職向きといえるかもしれない。一方で、教会ではこうした「原語」への参照を説教等で嫌う傾向もあるだろう。確かに説教で頻繁に原語を持ち出されては求道者はたまったものではないが、日毎に詩編を味わうなど、聖書のことをばを身の養いとして生きている修練の途上にある信徒にしてみれば、原語は近づき難いとはいえ憧れの対象であるに相違ない。本書を丁寧に読めば、豊かに原語のニュアンスを紹介されながら、聖書本文に即した理解を深めることができるのではないか。安易な原語軽視に教会が流されないよう注意したいところである。本文を離れた「意味」には虚構的な危うさが常につきまとう。

本書のもう一つの特徴として、ユダヤ・イスラエルへの関心の高さが挙げられよう。先に触れたアブラハム・ヘッセルの書物が時々参照されるが、同氏はマルティン・ブーバーに並ぶユダヤ思想家としてキリスト教界でも関心が高い。92 編の解説では、鍋谷氏自身の経験も含めて今日のイスラエル国での安息日の過ごし方が紹介され、114 編では過越の食事の手順が新約の最後の晩餐と対照される。また、122 編では聖書時代から現代に至るエルサレムの歴史が要約され、128 編ではユダヤ人の家庭の様子が紹介されている。イスラエルへの関心は歴史的なものばかりではなく現代の中東問題にも及び、そこから世界情勢へと視野が広がる。「復讐の神」への嘆願から始まる 94 編では、9・11 以後の信仰者の歩みがそこから導かれ、142 編「牢獄の祈り」ではサウルの迫害に追われたダビデの苦境に日本の歴史が合わせられて、戦時中のホーリネス弾正事件を例にとりながら詩編を読む試みがなされている。

現代的な関心という点では飛鷹氏の要約にもあるように、131 編や 139 編で扱われている生命倫理の問題がある。「神なし」との高ぶりから人類が科学を弄ぶ危険が、人工受胎や遺伝子操作にどのように及ぶか分からない現代において、神の全能を訴え、個々の人間の存在の根源を神に置く詩編のことはに耳をすす

ことの大切さを静かに著者は訴える。科学技術とその認識は信仰と対立する類のものではないため、教会の科学に対する過剰な反応は慎まなくてはならないが、現代的な問題を聖書のことばに突き合わせて、いったい何が至上の価値として我々の存在を規定し、社会を動かしているのかという点についての最も掘り下げた議論をキリスト者は世に対して為す義務を与えられている。本書が特徴とするある種のユダヤ性は、聖書を説き明かしながら読者の眼差しを教会の外へと向けさせるきっかけとなるのではないかと期待する。

教会の霊的涵養のために詩編 150 編全巻に亘る講解をささげてくださいましたと飛鷹美奈子氏の労に感謝したい。また、随所に挿入された鍋谷めぐみ氏のコメントは詩編の味わいに不思議な余韻を与えてくれる。

(神戸改革派神学校教授)

## 会員刊行文献目録

(2008.10～2009.10)

### ● 著書

- 生田嘉文 『JASTライブラリーNo.2 四重の福音を考える』(講義録) 日本アライアンス神学校、63頁、非売品
- 石黒則年(共著)『キリスト教と現代』『キリスト教ハンドブック』三省堂、255頁、1500円
- 石黒則年(共著)『民数記(注解)』『新実用聖書注解』いのちのことば社、1904頁、8400円
- 泉田 昭 『キリスト教倫理』いのちのことば社、383頁、3600円
- 市川康則(共著)『カイザルものはカイザルに、神のものは神に——政治的、社会的問題に対する教会の視点と姿勢』『平和をつくる教会をめざして』一麦出版社、245頁、2800円
- 金本 悟 『「聖化」の現代的意味——「和解の福音」の観点から』牧歌舎、173頁、4000円
- 窪寺俊之(共著)『スピリチュアルケアへのガイド』青海社、135頁、2100円
- 窪寺俊之(共著)『続・スピリチュアルケアを語る』関西学院大学出版会、142頁、1300円
- 窪寺俊之(共著)『人間学入門』日本医学教育学会倫理・行動科学小委員会／準備教育小委員会編、南山堂、134頁、2400円
- 中村 敏 『日本キリスト教宣教史』いのちのことば社、395頁、3000円
- 中村 敏 『著名人クリスチヤンの結婚生活』ファミリー・フォーラム・ジャパン、141頁、1000円
- 中村 敏(共著)『戦後の福音派の歩み』『日本開国とプロテスタント宣教150周年』いのちのことば社、241頁、1700円
- 森田美芽(共著)『エディット・シュタインの道徳教育論』『道徳哲学の現在』甲南大学総合研究所、49-69頁、非売品

山崎ランサム和彦 『平和の神の勝利——靈的戦いの聖書神学』 ブレイズ出版、188頁、1200円

● 訳書

スーザン・ハント著、教会における女性の働きの会訳（鈴木英昭：訳監修）『契約の継承者たち』聖恵授産所、339頁、1800円  
アレク・キドナー著、遠藤嘉信・鈴木英昭共訳『創世記』（ティンデル聖書注解）いのちのことば社、284頁、3000円  
アレック・モティア著、鍋谷堯爾・橋内明裕共訳『イザヤ書』（ティンデル聖書注解）いのちのことば社、548頁、4400円  
ドナルド・J・ワイズマン著、吉本牧人訳『列王記』（ティンデル聖書注解）いのちのことば社、387頁、3800円

● 論文

石黒則年 「詩篇第2篇の積義的一考察」（『神学と人文』第48集、大阪キリスト教短期大学）1-10頁  
石黒則年 「詩篇第1篇についての積義的一考察」（『神学と人文』第49集、大阪キリスト教短期大学）1-11頁  
市川康則 「礼拝・説教・牧会—教会の宣教の一環として—」（『改革派神学』第36号、神戸改革派神学校）26-47頁  
市川康則 「伝道としての祈り・祈りとしての伝道—キリストの祈りに担われて」（『ミッシヨン』第6号、日本キリスト改革派教会西部中会伝道と教会形成研究所）2-29頁  
Endo, Katsumori "Covenant Theology and Homiletics : Toward Preaching the Whole Counsel of God" in *Festschrift Editorial Committee (ed.) Study for the Sake of God's Glory: presented in honor of Dr. Changsook Chung Kim at her retirement as professor of Christian education and Christian counseling at Chongshin University.* (Seoul : Bethany Book House), pp.631-662

大頭真一 「栄光から栄光へ—ニュウサのグレゴリオスの動的聖化論」

（『ウェスレー・メソジスト研究』第9号、教文館）63-82頁  
木内伸嘉 「『自分のわざの終わりの』—ヘブル書3章7節~4章13節—」（『Exegetica』第19号、聖書釈義研究会）115-153頁  
木内伸嘉 「レビ記における語りの特徴」（『基督神学』第21号、東京基督教神学校）77-107頁  
窪寺俊之 「スピリチュアルケアの源流と展開」（『緩和ケア』第19巻第1号、青海社）7-10頁  
窪寺俊之 「緩和医療におけるキリスト教の役割」（『週刊 医学のあゆみ』第230巻第3号、医歯薬出版株式会社）225-227頁  
黒川知文 「内村鑑三とユダヤ人Ⅲ 再臨運動とユダヤ人問題」（『愛知教育大学研究報告（人文・社会科学編）』第57号）75-82頁  
黒川知文 「反ユダヤボグロムのための資料集(1)」（『愛知教育大学研究報告（人文・社会科学編）』第58号）  
坂井純人 「改革派神学における贖いの契約の教理—その諸課題の検証と意義について—」（『改革派神学』第36号、神戸改革派神学校）48-81頁  
佐々木哲夫 「~~THE~~の時間感覚」（『Exegetica』第19号、聖書釈義研究会）37-50頁  
佐々木哲夫 「ロボットとキリスト教—ロボット開発と創造信仰の相対—」（『東北学院大学教養学部論集』第151号、東北学院大学学術研究会）1-17頁  
佐々木哲夫 「旧約聖書の楽器トフ—エゼキエル書28章13節の翻訳を巡って—」（『東北学院大学宗教音楽研究所紀要』第13号、東北学院大学宗教音楽研究所）67-72頁  
竹内茂夫 「ヘブル語聖書における『笛』『フルート』の積義的考察」（『オリエント』第52号第1巻、日本オリエント学会）105-118頁  
塚本 恵 「テルトゥリアヌスの結婚観と現代」（『神学と人文』第48集、大阪キリスト教短期大学）27-40頁  
津村春英 「キリスト者と国家」（『神学と人文』第48集、大阪キリスト教短期大学）13-26頁。

- 野口 誠 「ローマ人への手紙 8 章 28 節——本文と解釈——」 (『聖書学論集 41 経験としての聖書』日本聖書学研究所) 389-406 頁
- 野口 誠 「パウロにおける『召し』の意味——ロマ書 8:30 をめぐって——」 (『宗教研究』359 号、日本宗教学会) 261-262 頁
- 福田充男 「習うより慣れろ——日本における草の根弟子育成プログラムの一事例」 (『宣教学ジャーナル』第 3 号、日本宣教学会) 84-110 頁
- 森田美芽 「キェルケゴールと病」 (『福音主義神学』第 39 号、日本福音主義神学会) 49-71 頁
- 森田美芽 「エディット・シュタインの女子教育論」 (『神学と人文』第 48 集、大阪キリスト教短期大学) 73-81 頁
- 三浦 謙 「使徒の働き 1 章 8 節における『地の果て』の意味」 (『Exegetical』第 19 号、聖書義研究会) 71-92 頁
- 湊 晶子 「新渡戸稲造の人格論・Personality の今日的意義」 (『東京女子大学比較文化研究所紀要』第 70 巻、東京女子大学比較文化研究所) 49-63 頁
- 湊 晶子 「東京女子大学の 90 年の歴史とこれから——キリスト教を基盤とした本学のリベラル・アーツ」 (『東京女子大学紀要「論集」』第 59 巻、東京女子大学) 221-229 頁
- 山口勝政 「聖書の無誤性へのコミットメントと JECA」 (『神学のひろば』第 6 号、日本福音キリスト教会連合全国神学委員会) 115-128 頁
- 山口勝政 「うつ病治療における聖書の価値 (2)」 (『聖書カウンセリング研究』第 3 号、聖書カウンセリング研究会) 6-18 頁
- 山口勝政 「論説：地方伝道と神の国」 (『シンポジウム第 9 回「地方伝道を考える——自立と連帯——」報告書』北関東神学研修センター) 1-12 頁
- 吉本牧人 (要約) 「グスタフ・ヴァルネク『福音主義宣教論』 Gustav Warneck : Evangelische Missionslehre」 (『福音主義宣教学研究』vol.6. No.1. 通算 14 号) 13-50 頁

● その他

- 尾山令仁 『ヨハネが受けたキリストの啓示 (黙示録) 講解』羊群社、327 頁、1500 円
- 榮 義之 『希望! 輝きに向かって』(ABC ラジオメモッセージ集) グッドワーク研究所、180 頁、1200 円

部会・理事会報告 (JETS 掲載)

●東部部会

1. 理事会構成

○役員理事 理事長：内田和彦

書記：関野祐二

会計：渡辺 聡

○学会誌：木内伸嘉、藤本 満

○部門理事 聖書学：三好明、大坂太郎

組織神学：岡村直樹

歴史神学：丸山悟司

実践神学：藤原導夫、福井誠

2. 研究会・講演会

①春期研究会：2008年5月26日(月)

主題：「解決の糸口が見えてくる、対処がわかる—困難な牧会への二人の提言—」

発題1 岡村直樹氏「質的研究方法と牧会」

発題2 藤掛 明氏「非行心理臨床の実務から学んだこと

—これからのキリスト教界におけるカウンセンシングの可能性—」

コーディネーター 福井誠氏

②秋期研究会：全国研究会議に合流

③部門活動：なし

3. 会員異動

- 〈入 会〉川上直哉氏、笹岡靖氏、河野 克也氏かかわの
- 〈転入会〉門谷一氏(西部部会より) かど たに かん いち
- スチュアート・ラウアー氏(西部部会より)
- 〈退 会〉梅田與四男氏、八重樫和彦氏

書記：正木牧人

会計：鷹取裕成

◎学会誌：市川康則、安黒 務

◎理事：大田裕作、金井由嗣、工藤弘雄、瀧 浦滋、  
津村春英、橋本昭夫、福田充男、真鍋 孝

2. 研究会・講演会

2008年春の研究会 4月21日(月) (関西聖書神学校)

主題：「福音主義における伝道の神学」

2008年秋の研究会 11月25日(火)～27日(木)

全国研究会議に参加 主題：「現代日本における伝道の神学」

3. 会員異動

〈入会〉 徳永大氏、上田崇教氏、岡本雅幸氏、池田憲廣氏、

武藤隆二氏、大澤恵太氏、沼 慎二氏、奥田昭氏、

崔 有美氏、加藤郁生氏、杉 貴生氏

〈退会〉 並村由紀氏、久保田周氏

〈転会〉 ラウワ・スチュアート氏(東部へ)

●全国理事会報告

〔日時〕 2009年6月15日(月) 午後2:00-5:00

〔場所〕 名古屋国鉄会館会議室7階ひかり

〔出席〕 東 部：内田和彦、渡辺 聡

中 部：佐々木保雄、関 昌宏

西 部：市川康則(理事長)、鷹取裕成(会計)、正木牧人(書記)

学会誌：(市川康則)

欠席者なし

■開会の御言葉と祈祷：市川理事長

Iコリント9:19～23

■報告：

1. 全国理事会(正木) 配布「2008年度全国理事会議事録08/06/02」

●中部部会

1. 理事会構成

○役員理事 理事長：安村仁志

書記：関 昌宏

会計：佐々木保雄

○学会誌：檀原久由、東 正明

○中部部会会報：檀原久由

○無任所：池上 泉

2. 研究会・講演会

① 公開講演会 2008年5月12日

市川康則氏「教会の宣教としての礼拝—特に説教の響きと広がりを目指して—」

② 秋季研究発表会 2008年10月20日 田中忍氏「エコ・チャーチについて」

③ 中部部会会報 第9号

安村仁志氏「巻頭言」

市川康則氏「宣教・礼拝・説教—福音宣教に仕える教会として」

田中 忍氏「キリスト教会と環境問題—エコチャーチの働き—」

佐々木保雄氏「心に刻む歴史」

松浦 剛氏「掲示板伝道から学んだこと」

檀原久由氏「告白—私が牧師を続けられるわけ—」

3. 会員異動

〈入会〉白井 仁氏、田中 忍氏

〈退会〉小林 茂氏

●西部部会報告

1. 理事会構成

◎役員理事：理事長：市川康則

- ・前回理事会で承認済み。議事録を確認した。
- 2. 各部会報告 承認
  - ・西部：(正木) 09/04/20総会報告より説明。九州ブロック再開に際し、東部中部の九州在住者を西部に転会を御願いたい。
  - ・中部：(関) 09/05/18総会議事録により説明。
  - ・東部：(内田) 08/06/06総会資料により説明。
- 3. 学会誌(市川)
  - ・39号発行「病いと癒し」、40号・昨年の全国研究会誌特集号とする。
- 4. 会計(鷹取)
  - ・別紙「日本福音主義神学会全国会計2008年度決算
- 5. JETSニュース(佐々木) 31号を発行した。
- 6. 全国研究会誌報告(市川)
  - ・09/11/25～27に第12回日本福音主義神学会全国研究会を神戸で開催したが、誤って第11回とされていたため、2005年が第11回、2008年が第12回となる
  - ・クリスマスチャン新聞の2月15日号に市川会長が総括を書いた。

■審議：

1. 役員構成
  - ・全国理事長：市川康則(残り1年)、全国書記：正木牧人  
全国会計：鷹取裕成 留任
2. 学会誌
  - ・第40号2009年発行は上記の通り。
  - ・第41号2010年、本会は専門的研究よりも総合的研究の相互啓発の場として霊感論や正典論という土台と、現代日本へのレレバランスを探ることを焦点としてきたことをふまえる。
3. 全国会計予算 別紙のように2009年度予算承認
4. JETSニュース
  - ・7月末までに原稿提出のこと。巻頭言：市川理事長。作成：佐々木

5. 次回の全国研究会誌に向けて

- ・テーマ等について意見を交換した。
- ・2011年秋に東部の主催で行う。西部・中部から各一名を準備会に送る。全国研究会誌準備相談会を6月7日10:00～13:00名古屋国鉄会館会議室7階ひかりで開催する。招集東部部会。
- 6. 全国会員名簿
  - ・鷹取氏担当。2010年春発行予定。各部会の資料を2009年末に集める。
- 7. 記録確認
- 8. 次回全国理事会予定
  - ・2010年6月7日(月) 14:00～17:00 名古屋国鉄会館会議室7階ひかり

■閉会祈り 閑理事

●学会誌報告

①学会誌委員

- 東部：木内伸嘉、藤本 満(会計)
- 中部：壇原久由(書記)、東 正明
- 西部：市川康則(編集長)、安黒 務

②39号発行

特集テーマ「病気と癒し」 2008年12月発行

③40号は、2008年全国研究会誌特集号とする



日本福音主義神学会全国会計  
2008年度決算報告および2009年度予算

項 目	収入の部		
	2008年度予算	2008年度決算	2009年度予算
東部分担金	450,000	450,000	150,000
中部分担金	70,000	70,000	70,000
西部分担金	390,000	390,000	400,000
学会誌売上	150,000	51,068	100,000
広告収入	150,000	200,000	150,000
献金	0	0	0
雑収入	0	2,500	0
前年度繰越	1,090,995	1,090,995	1,220,198
合 計	2,300,995	2,254,563	2,090,198

項 目	支出の部		
	2008年度予算	2008年度決算	2009年度予算
学会誌出版費	900,000	800,000	900,000
全国理事会費	150,000	102,690	150,000
事務通信費	10,000	550	10,000
ニュース発行費	30,000	31,125	30,000
研究助成費	30,000	0	50,000
全国研究会議費	100,000	100,000	100,000
名簿作成費	100,000	0	100,000
雑費・予備費	960,995	0	750,198
次年度繰越	0	1,220,198	0
合 計	2,300,995	2,254,563	2,090,198

項 目	総 計		現在額	
	金 額	項 目	金 額	金 額
出版基金	1,208,421	郵便振替		2,426,609
次年度繰越	1,220,198	現金		2,010
		未収金		0
合 計	2,428,619	合 計		2,428,619

## 論文執筆・投稿要項

——『福音主義神学』原稿執筆についてのお願ひ——

日本福音主義神学会

### 1. 提出方法

原稿は、ワープロで提出してください。コンピュータによる場合は、MSワードがベターです（この件に関しては各部会の編集委員にご相談ください）。ファイルのほかにプリントアウトしたものを付け、その上で、文字の強調やイタリックを示してください。論文中のヘブル語の表記は、子音のみならば、ヘブル語、その他の場合は音写による（カナまたはラテン文字）。ギリシャ語は原文のまま（特にアクセント、ブリーディングを正確につけてください）。論文は横書きですので、数字はアラビア数字になっていることを確認してください。

### 2. 枚数

論文、研究ノートは15,000字から18,000字（たとえば、B5の紙、30字×30行のレイアウトで、16頁から20頁。書評、文献紹介は、2,000字から4,000字程度（先のレイアウトで3頁から5頁）。字数が超過した場合、書き直しをお願いすることがあります。

### 3. 締切期日

論文は毎年6月末日までに所属する部会（東部、中部、または西部）の編集者に提出してください。書評、紹介なども同様とします。

### 4. 投稿

論文、書評の依頼は編集委員会から行いますが、論文を投稿することもできます。この場合、まず投稿論文のアウトラインと要旨を3月末日まで所属の部会の編集者に原稿を提出します。そして、編集委員会の審査を受けることとなります。採用された場合、原稿の締め切りは6月末日です。

いずれの場合にも、原稿の最終取扱権は編集委員会にあります。

5. 注 記

注については、最近号の『福音主義神学』を参照してください。

6. 校 正

論文の校正は、原則として編集委員会で行います。なお、原稿提出後の訂正は最小限にし、する場合にも、ほぼ同一字数以内での差し替えを原則とし、数行にわたる組み替えを必要とする加筆、削除などをご遠慮ください。

7. 原 稿 料

懸賞論文以外のものについて、原稿料は支払われません。論文については、会誌を10部、書評などに対しては三部を執筆者に贈呈します。

文献表記の仕方について

1. 邦語文献

- (1) 単行本
  - ・佐々木順三『教会暦年の研究』(聖公会出版社、1939年) 54頁
  - ・ルネ・パーシユ『イエス・キリストの再臨』(いのちのことは社、1978年) 53-54頁を参照。
- (2) 一つの本の中に多くの著書があり、その一つひとつが独立した論文になっている場合
  - ・岸本通夫『印欧語の移動とヒッタイト王国の台頭』『岩波講座、世界歴史』I (岩波書店、1969年) 161-63頁
- (3) 論文
  - ・内田和彦『新約聖書における福音と文化』『福音主義神学』第19号(日本福音主義神学会、1988年) 96-117頁
- (4) 直前に引用した本を続いて引用する場合

前掲書、32頁

(5) 間に別の本が入っている場合

・ルネ・パーシユ『イエス・キリストの再臨』(著者名と書名だけ) 60頁

2. 外国語文献

一般原則は、次の本を、表記の具体例は (a) 以下を参照してください。

Kate L. Turabian. *A Manual for Writers of Term Papers, Theses, and Dissertations*, 4th ed., Chicago: University of Chicago Press, 1973.

(a) Books

One Author

Paul Thillich, *Systematic Theology*, 3 vols. (Chicago: University of Chicago Press, 1951-63), p.9.

Three authors

Bernard R. Berelson, Paul F. Lazarsfeld, and William McPhee, *Voting* (Chicago: University of Chicago Press, 1954), pp.93-95.

More than three authors

Jaroslav Pelikan et al., *Religion and the University*, York University Invitation Lecture Series (The University of Toronto Press, 1964), p.109.

Editor as "author" (same form used for compiler)

J.N.D. Anderson, ed., *The World's Religions* (London: Inter-Varsity Fellowship, 1950), p.143.

Article in a journal

Don Swanson, "Dialogue with a Catalogue," *Library Quarterly* 34 (December, 1963), p.115.

(b) "Ibid"

When references to the same work follow each other without any intervening reference, even though the references are separated by several pages, abbreviation "ibid." for the Latin ibidem, "in the same place"

is used to repeat as much of the preceding reference as is appropriate for the new entry:

1 Max Plowman, *An Introduction to the Study of Blake* (London: Gollacs, 1952), p.32. [A first, and therefore complete, reference to the work.]

2 *Ibid.* [With no intervening reference; a second mention of Plowman's work requires only "*Ibid.*" Notice that "*Ibid.*" is not underlined.]

3 *Ibid.*, p.68.

For a book, a second or later reference to a work already cited in full form, but not in the reference immediately preceding, omits the facts of publication, series title, if any, edition (unless more than one edition of the same work has been cited), and total number of volumes. Thus pared down, the reference consists of author's last name, title of the work, with page, and volume number as well, if necessary. Note the full reference in footnote 1 and a later reference to the work as shown in (arbitrarily numbered) footnote 9.

1 Gabriel Marcel, *The Mystery of Being*, 9 vols. (Chicago: Henry Regnery Co., 1960), 1:42.

9 Marcel, *Mystery of Being*, 2:98-99.

## 賛助会員一覧

日本福音主義神学会の運営は、次の賛助会員、諸教会、諸団体によって支えられております。ここに心からの感謝を申し上げます。

〈東部部会〉	神戸キリスト教書店
日本基督バプテスト連合宣教団	神戸ルーテル神学校
東京基督教大学	堺大浜キリスト教会
柏崎聖書学院	四条巖キリスト教学院
東京聖書学院	福音聖書神学校
東京基督神学校	日本キリスト改革派神港教会
聖契神学校	カペナタンター書店
中央聖書神学校	
日本キリスト改革派仙台教会	
日本キリスト改革派東京恩寵教会	
日本キリスト長老久我山教会	
中央福音教会	
練馬バプテスト教会	
日本福音長老教会菊名西教会	
練馬神の教会	
〈中部部会〉	
東海聖書神学塾	
墨 鉦 平	
〈西部部会〉	
大阪キリスト教短期大学神学科	
関西聖書学院	
関西聖書学校	
神戸改革派神学校	

福音主義に立つ



神学教育

アジアの

敬虔な心と情熱を以て

アジア神学協議会認可

# アジア神学大学院日本校

(AGST/J)

理事長 佐布 正義 校長 橋本 昭夫  
教務 正木 正人

## ◆神学博士課程 (Doctor of Theology: Th.D.)

神学の各分野における最高度の専門的研究を行うことにより、神学教育機関で働く神学教師を育成。

## ◆神学修士課程 (Master of Theology: Th.M.)

神学教育機関の教師の養成と教会活動の専門家を育成  
聖書学 (旧約・新約) 専攻 ・ 組織神学専攻  
歴史神学専攻 ・ 宣教学専攻

## ◆牧会学博士課程 (Doctor of Ministry: D.Min.)

地域教会の牧会・伝道や世界宣教の分野における高度の専門的研究を行うことにより牧会・宣教の専門家を育成

神学博士 2 名、牧会学博士 16 名、神学修士 8 名の学位論文を出版、実費で頒布中。

2009 年度在籍者 神学修士課程 12 名、牧会学博士課程 13 名。入学願書締切 6 月 30 日、入学試験 8 月下旬。

### ●資料請求・問い合わせ先 (各研修センター)

関東 〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1 東京聖書学院内  
アジア神学大学院事務局 TEL 042-391-3076  
本部/関西 〒651-0052 神戸市中央区中島通 2-3-5 神戸ルーテル神学校内  
関西アジア神学大学院事務局 TEL 078-221-6956



# 大阪キリスト教短期大学

学長 (神学教育責任者) 津村 春英

(神学系) 専任教員: 池田美芽、石黒則年、重富勝己、塚本恵、津村春英  
兼任教員: 木村裕彦、清野勝男子、崔榮九、趙永哲、中江松二、畑野順一、真鍋孝  
村田充八、森田悦弘、副島恵、山本美紀

## ◎国際教養学科 (定員 100 名)

- ・神学基礎 コース : 牧師、伝道者をめざす基礎コース
- ・キリスト教文化 コース : キリスト教文化を学んで就職するコース
- ・他に、国際教育コース、情報ビジネスコース、英語コミュニケーションコース

## ◎専攻科 神学専攻 (定員 5 名) 牧師、伝道者養成課程

国際教養学科	出願期間	試験日
一般入試 1 期	2010 年 1 月 12 日-1 月 22 日	1 月 27 日(水)
一般入試 2 期	2010 年 2 月 1 日-2 月 10 日	2 月 15 日(月)
一般入試 3 期	2010 年 2 月 25 日-3 月 9 日	3 月 11 日(木)
AO	2010 年 1 月 18 日-3 月 9 日	ご本人に通知
専攻科神学専攻	出願期間	試験日
C 日程	2010 年 1 月 25 日-2 月 3 日	2 月 6 日(土)
AO	2010 年 2 月 25 日-3 月 10 日	3 月 13 日(土)

- ・国際教養学科 AO 入試は出願に先立つエントリー期間があります
- ・専攻科修生は論文審査により学位授与機構から神学士号授与(四大学と同様)
- ・社会人入試、長期履修制度(2 年→3、4 年)があります
- ・詳しくは教学部入試担当までご相談ください

## 大阪キリスト教短期大学紀要『神学と人文』第 49 集 (2009 年度)

1. クリスマス物語の再検討 石黒則年
  2. ヨハネ共同体組織についての一考察 津村春英
  3. H・ティエリケの神学的人間学をめぐって 塚本 恵
  4. 「詩」と「叫び」の間でー続・アルンダティ・ロイ、インド、世界ー 井上 央
  5. 日本の大学生の動機づけをめざした ESP 教育の可能性 前川洋子
  6. 道徳教育と人権教育 森田美芽
  7. つまづきやすい学生への気づきと支援のために(2)ー就労支援を考えるー 薬山貴美子
  8. 保育者の「公正さ」研究の位置づけについての一考察 二見恭雅子
  9. (特別寄稿) 2009 秋季神学教育特別講演 講師: 池 登銀 博士(聖萊聖書教会担任牧師)
- ①御言葉が更新の希望であるーフリップ・ヤコブ・シユベナーの歌度主義ー  
②使命と更新ー現在の韓国教会に関する一考察ー 翻訳: 崔榮九、監修: 津村春英

〒515-0042 大阪府阿倍野区丸山通 1-3-61 電話 06-6662-2091(代表)  
URL <http://www.occ.ac.jp> Email [nyushi@occ.ac.jp](mailto:nyushi@occ.ac.jp)



学校法人

# 東京キリスト教学園

建学の精神

福音主義

超教派

世界宣教

実践神学教育

ダイナミックな主の奉仕者の育成を目指して

住所 〒270-1347 千葉県印西市内野三丁目301-5-1  
Tel 0476-46-1131 (代) Fax 0476-46-1405  
理事長・学園長 赤江 弘之



## 東京基督教大学

Tel 0476 (31) 5520

学長 倉沢 正則

特色 ●一つの神学部からなる神学大学である。

学科 ●神学科(牧師、伝道師、宣教師の養成)と国際キリスト教学科(宣教師、キリスト教界における幅広い奉仕者などを養成)の2学科を有する。

募集人員 ●神学科 18名、国際キリスト教福祉学科 20名、合計 38名

願書締切 ●一般1期:2010年1月27日必着 一般2期:3月12日必着

試験期日 ●一般1期:2月5日、一般2期:3月18日

入試科目 ●一般入試:選択[聖書・公民]、英語、小論文 面接

編入学試験 ●社会人入試、帰国子女入試、留学生入試あり 詳細は入試課まで

## 東京基督神学校

Tel 0476 (46) 1135

校長 山口 謙一

特色 ●神学科 教職コース(M.Div.):3年、大卒者対象の牧師・伝道師・宣教師育成のための神学教育機関  
●音楽科 音楽短大卒または大卒者対象の教会音楽主事等育成のための教会音楽教育機関

TCUと「キリ神、いよいよひとつに」

東京基督神学校と東京基督教大学の教会教職プログラムの統合により、学部3.4年次と大学院修士課程または専攻科2年(設置計画中)で一貫した4年制の教会教職課程を開始します。音楽科は1年の専攻科になります。

●大卒者は3年次に編入  
前期(専門基礎教育2年間)・後期(専門教育2年間・修士課程/専攻科)合わせて4年間で教会教職課程を履修できます。

●高卒者は6年間で  
学部1.2年次はキリスト教世界観に基づく教養科目と神学諸科目から成るコアカリキュラムを履修、3年次に教会教職課程へ進級できます。

(入試について)  
入試日程:大学の一般入試と同日程です。左記をご覧ください。  
入試科目:聖書・英語・小論文・面接

★詳細は本校事務局までお問い合わせください。

## 付 属 機 関

- 共立基督教研究所 所長:稲垣久和  
神学及び諸科学ならびに諸文化に関する理論的、実践的調査研究とそれに関する諸活動を行うことを目的とした研究機関。
- 国際宣教センター センター長:倉沢正則  
世界宣教の使命の元に、「宣教の理論」のみならず、「現場での実践」からフィードバックされていく問題意識や課題を取り上げ、神学や宣教学と統合して検討し、それを諸教会・諸団体に分かち合うための研究機関。
- 図書館 図書館長:伊藤明生  
神学部単科の大学図書館としてキリスト教及び宗教学関係の資料を主に収集、所蔵している。現在、蔵書数は約7万冊。

## 専 任 教 師 陣

伊藤 久和	片岡 政子	ジェームズ・オスタフ	櫻井 柴田	関部 敏彦	ステパノ・フランクリン
稲垣 貴詞	木内 伸嘉	片岡 政子	柴田 ランドル	敏彦 ジョセフ・ホーシヤック	ジョセフ・ホーシヤック
井上 三枝子	岩田 菊池	木内 伸嘉	岩田 ランドル	三枝子 ショート	官臨 聡史
宇内 千晴	宇内 千晴	岩田 菊池	宇内 千晴	千晴 乃百合	柳沢 美和子
大竹 直樹	大竹 直樹	宇内 千晴	大竹 直樹	直樹 忠子	大和 昌平
岡村 直樹	岡村 直樹	大竹 直樹	岡村 直樹	直樹 秀一	油井 義昭

創立 1901年 ますます拡充、前進を続ける。 〒189-8512 東京都東村山市廻田町1-30-1  
Tel 042-391-391 ~ 3076 (市前所)(火)~(金)9~5時  
Fax 042-397-7558

# 東京聖書学院

【特 色】 ● 聖書の十全霊感を信じ、聖化の信仰に立つ聖書神学重視。

【募集科目】 (1) 本科 (大学卒3年、高校卒4年) \*その他(インターン制度あり)  
\*本科入学者希望者は、教会において献身者としての奉仕経験及び訓練が半年以上あることが求められます。

(2) 一年訓練コース (信徒の立場で主に仕えたい、教会で奉仕したいと願う人々のために設けられたコース) \*原則として全寮制

(3) 信徒コース (通学生、通信生)  
\*講座名、申込方法については学院事務所にお問い合わせください。

【入学要項】 2010年度入学 第二回願書締切:2010年3月2日(火)  
第二回試験:2010年3月10日(水)

提出書類、授業料、食費その他については教務課宛にお問い合わせください。

http://www.jhc.or.jp/tbs/  
e-mail: tbs@jhc.or.jp



## 福音聖書神学校

校長:真鍋 孝

モットー: 初代キリスト教会の信仰と実践に堅く立ち、兄弟愛をもって規律ある訓練と教育をほごす。聖書信仰が強調され、それに基づく組織神学、実践神学が教えられる。アナバプテスト宗教改革精神を継承し、救済史のキリスト再臨時ににおけるイスラエル民族の独自の役割を認める穏健カトリック神学の立場をとる。

課程: 本科神学課程(大卒、あるいはそれと同等の学力を有する者、3年)  
本科キリスト教教育課程(大卒、あるいはそれと同等の学力を有する者、3年)  
教会伝道者課程(レイマン) 聴講制度あり

入学手続: 願書締切 2010年2月15日  
入学試験 2010年2月22日、聖書・国語・英語の筆記試験と面接  
詳細は神学校宛にお問い合わせください。

教 師 陣: 日本メノナイト・ブレザレン教団の教職他  
考 考: 牧師と教会の推薦する者の聴講を許可している。教会伝道者課程はレイマンの指導者要請を目的とするが、本科への転入も可能である。

## 日本メノナイト・ブレザレン教団立(超教派的に)学生募集

〒563-0038 大阪府池田市荘園2丁目1番12号 TEL 072-761-1397  
e-mail: ebs@wombat.zaq.ne.jp FAX 072-761-8200



# 神戸ルーテル神学校

Sola Scriptura, Sola Gratia et Sola Fide

- ad Adventum Domini

聖書に立ち、恵みに支えられ、信仰に生きる

—主の来たりたもう日に向かって

◆神戸ルーテル神学校は、2007年、創立50周年を迎えました。福音主義的諸神学校との緊密な協力のもと、神学教育のわざに励むことができたことを感謝しています。卒業生も、他神学校からの神学修士課程履修生も含まれますと206名を数えるにいたりました。ルター主義に立つ超教派の神学校として、ルーテル教会、改革派、メソヂスト、福音自由、ホーリネス、在日大韓教会、聖約教団、日本長老教会などに、さらにアメリカ、インドネシア、タイなどにも宣教師を送り出しました。神学修士課程の学びに加えて、教職Aコース、Bコースをもち、多彩な神学的ニーズに対応しようとしています。さらに充実した神学教育を通して積極的に日本の教会に貢献しようとしています。

◆毎年、夏（7月上旬）と秋（10月下旬）にリフレッシュ・コースという名のもとに、著名な講師などをお迎えして神学の集中講座を行っています。また、通信教育を通して神学の学びをすることが出来ます。現在、「旧約学」「新約学」「説教学」「実践神学」の分野で優れた教材が用意されています。

◆アジア神学大学院日本校（AGST/J）の神戸研修センターとして、神学修士課程の学びにまでいたる神学研修の道を開いています。

◆願書締切 2月20日、入学試験 3月上旬。

## 教 師 陣

■教授 正木 牧人	(校長・教務・新約神学、組織神学、歴史神学、実践神学)	ボルド・ハウゲ (新約神学)
橋本 昭夫	(学監・組織神学、歴史神学)	小賀野 英次 (旧約神学)
鍋谷 舜剛	(旧約神学)	レア・ルッカ (新約神学・実践神学)
田端 武	(新約神学)	正木うらら (キリシア語、ヘブル語)
クヌート・アルスボーク (歴史神学)		石居 正己 (歴史神学)
角川 周治郎 (客員・組織神学)		海老原 道雄 (歴史神学)
徳善 義和 (客員・歴史神学)		竹内 茂夫 (旧ヘブル語、教会音楽)
■助教 有木 義岳 (実践神学)		田村 弘子 (教会音楽)
		勝原 忠明 (実践神学)
		武川 公 (実践神学) ほか講師多数

校長 正木 牧人

問い合わせは右記へ

〒651-0052 神戸市中央区中島通 2-3-5

TEL 078-221-6956

FAX 078-221-5825

e-mail: office@koluthse.jp

http://www.koluthse.jp/

振替 01130-5-45575

# 関西聖書神学校

所在地 〒655-0872 神戸市垂水区塩屋町6-32-15

電話 078-751-2126 Fax 078-751-2311

「これは権勢によらず、能力によらず、わたしの霊によるのである。」  
(ゼカリヤ4:6)

◇創立 1924年

●修業期間：本科3年、基礎科1年、明確な召命を有する者

●バックストン、ウィルクス師らによってもたらされた聖書のきよめを高調

●教育目標：聖霊に満たされた神の器の人格形成。聖書の緻密（ちみつ）な学びと祈禱生活の訓練、神への絶対服従と伝道実践の強調。

◇入学願書提出締切：第一次 2010年1月31日（日） 第二次 2月28日（日）

◇入 試 日 程：第一次 2010年2月13日（土） 第二次 3月6日（土）

\* お問い合わせは上記住所まで

# 日本キリスト改革派教会 神戸改革派神学校

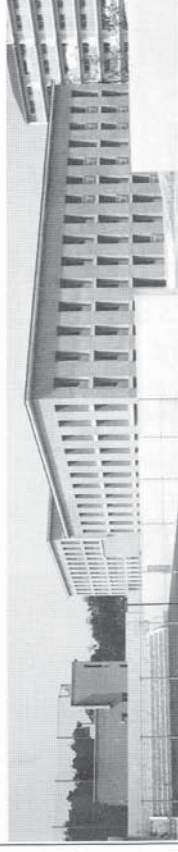
●学生募集●

理事長 小野 静雄 校長 市川 康則

●教育方針 歴史的改革派神学に立ち、神の真理を正確に教える教師、恥じるところのない牧者、忠実な伝道者を養成する。

●本科受験資格 一年以上の忠実な教会員生活を送り、みことばの役者となるべく神からの召命を自覚している、四年制大学卒業、あるいは同等の学力のある男子。

●他に別科・特別研究科・聴講制度あり。



●願書締切 2010年2月15日（月）までに提出のこと ●試験日 2010年3月16日（火）

●修学年限 本科3年3か月（四年制大学卒または同等以上の男子）

●所在地 651-1306 神戸市北区昌涌が丘3丁目1-3

●電話 078-952-2266 FAX 078-952-2165 郵便振替 01140-5-12672

e-mail: rcj-kobe2266@nifty.com



ペンテコステ信仰にたって福音宣教の  
使命に燃える者を訓練・育成する  
日本アソシエーション・オブ・ゴッド教団



# 中央聖書神学校

(ATA 認定校)  
校長 菊山 和夫

修業年限 3年 (高卒—Diploma、大卒—B. Th.)  
入学資格 高卒以上、召命の確信がある者  
願書締切 2010年2月16日 入学受験 2010年2月23日

本校・関東分校：〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-15-20  
通信科 Tel:03-3918-4925 Fax:03-3918-4064  
e-mail: cbc@ag-j.or.jp http://www.cbc-j.ac.jp  
関西分校：〒544-0034 大阪市生野区桃谷 1-5-6  
関西福音センター内  
(連絡先) 〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家 2537-4  
加古川福音キリスト教会内  
Tel/Fax: 0794 (25) 1406 e-mail: CZZ025566@nifty.ne.jp

## 十字架と聖霊 そして宣教 学院長：大田裕作

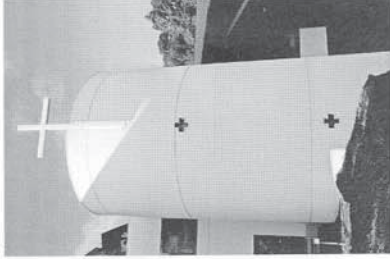
理事長：豊村善典  
1961年創立

【特色】全寮制・実践科目も充実！  
福音派にも聖霊派にも通用する実践的働き人の育成

- 【コース】導きや献身を確かめながら、  
3週間コースからスタートできます  
◆短期コース (毎年4月 3週間)  
◆1年コース (信徒リーダー・役員コース)  
◆3年コース (教職者コース)

“受ける側から与える側へ”

- 宣教師訓練コース (5月～11月 木・金の週2回)  
・有力宣教団体公認  
・宣教師経験者による充実講義  
・明確な召命のある方の派遣前準備  
・宣教についての関心のある方



〒630-0266 奈良県生駒市門前町22-1 TEL:0743-70-8600 FAX:0743-70-8601  
E-mail:kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp URL:http://www.kbiwave.com/

### 『福音主義神学』

バック・ナンバーご希望の方へ  
既刊三十五冊の『福音主義神学』バック・ナンバーの入手  
を希望される方に朗報。残部は僅少ですが、在庫分は割引備  
格でご購入いただけます。

一五五号	『福音主義聖書論』	一、七、七〇〇
一七六号	『生と死』	一、七、七〇〇
一七八号	『釈義と説教』	一、七、七〇〇
一九九号	『福音と文化』	一、七、七〇〇
二〇〇号	『創造論』	一、七、七〇〇
二〇一号	『福音と日本文化』	一、七、七〇〇
二〇二号	『福音と文化』	一、七、七〇〇
二〇三号	『聖霊論』	一、七、七〇〇
二〇四号	『礼拝論』	一、七、七〇〇
二〇五号	『科学と信仰』	一、七、七〇〇
二〇六号	『戦後日本の教会』	一、七、七〇〇
二〇七号	『戦争』	一、七、七〇〇
二〇八号	『人間の宗教性』	一、七、七〇〇
二〇九号	『説教』	一、七、七〇〇
二一〇号	『聖書解釈学』	一、七、七〇〇
二一一号	『終末論』	一、七、七〇〇
二一二号	『女性教職論』	一、七、七〇〇
二一三号	『教会カウンセリング』	一、七、七〇〇
二一四号	『いのちをめぐって』	一、七、七〇〇
二一五号	『讃美歌』	一、七、七〇〇
二一六号	『祈り』	一、七、七〇〇
二一七号	『霊性』	一、七、七〇〇
二一八号	『日本の宣教を考える』	一、七、七〇〇
二一九号	『癒し』	一、七、七〇〇

ご希望の方は、直接、発行者あるいは各都府県事務局までご  
注文、お問い合わせください。

バックナンバーはホームページで閲覧できます。http://www.evangelical-theology.jp/

# EVANGELICAL THEOLOGY

40

December, 2009

Issues on "Evangelism"

Editors

Y. Ichikawa, N. Kiuchi, T. Aguro, H. Dambara, M. Higashi, M. Fujimoto

## CONTENTS

Foreword ..... Yasunori Ichikawa

1 The Message To Be Proclaimed ..... Kazuhiko Uchida  
 A Response to K. Uchida ..... Haruhide Tsumura  
 A Rejoinder to H. Tsumura's Response ..... K. Uchida

2 Evangelism in a Society of Religious Pluralism ..... Akio Hashimoto  
 A Response to A. Hashimoto ..... Kunio Sakurai  
 A Rejoinder to K. Sakurai's Response ..... A. Hashimoto

3 The Church as God's Appointed Means of Spreading the Gospel  
 ..... Masanori Kurasawa  
 A Response to M. Kurasawa ..... Nobuo Souma  
 A Rejoinder to N. Souma's Response ..... M. Kurasawa

4 Church-building as the Fruit of Evangelism ..... Yuichi Kawano  
 A Response: From Vissio Dei to Missio Dei — Towards a Unity of  
 Evangelistic Community and Worshipping Community ..... Hiroo Kudo  
 A Rejoinder to H. Kudo's Response ..... Y. Kawano

Articles  
 The Ban on Christianity and the Protestant of 100 years — From B. J.  
 Bettelheim to Japan's Defeat of World War II ..... Youichi Yamaguchi  
 Freedom of Religious Belief and Japanese Church — Church's Struggle  
 for Finding Her Own Place ..... Sakae Kaminaka

Members' Achievement Records

Published by  
The Japan Evangelical Theological Society

福音主義神学 第40号

2009年12月15日発行

定価：本体1,500円＋税

編集者 市川 康則 (西部・編集長)  
 安黒 務 (西部)  
 東 正昭 (中部)  
 檀原 久由 (中部)  
 木内 伸嘉 (東部)  
 藤本 満 (東部)

発行 福音主義神学会  
 理事長 市川 康則  
 事務局 651-0052 神戸市中央区中島通2-3-5  
 神戸ルーテル神学校内  
 電話 078-221-6956  
 FAX 078-221-5825

印刷 キクラ印刷株式会社  
 933-0322 富山県高岡市樋詰48-2